

クールビズ・ウォームビズと言われるようになって久しい。その言葉とともに、衣替えという言葉も聞かれなくなった。そういえばカジュアルフライデーという言葉もあった▼私の学生時代は、7月1日の衣替えには、教室内の景色が爽やかに一新し、夕方の地元局のニュース、翌日の地元新聞朝刊には、衣替えをした高校生の通学の様子が紹介される。しかも毎年同じ学校▼いなべ市では、様々な理由から制服の変更が実施され、市内中学校の制服のベースが統一された。組み合わせの選択肢が増え、一定の基準のもと自由度が増した▼一定の基準というのはとても大切。自由という解釈を間違えると自分勝手にしか映らない。いわゆるマイルール。フリーとマイルールを明確に分けるのは難しい。私の基準は、周りに迷惑をかけていないか、不愉快や不快感を与えていないかという線引き▼制服の自由度に加えて、近々、熱中症対策の観点から服装の自由度がさらに増す。一定のルールのもと、①一日中、Tシャツ・ハーフパンツ可②ノーネクタイ・ノーリボン▼①により、私にとって困ったことが起こる。「名札着用」の大原則がなくなるのだ。生地が薄いから穴があく。破れる。ごもつともである。異論はない。でも反対！名前がわからないじゃないか！趣旨が変わるから却下。英語の先生が、Who are you? でいかがですか? と教えてくれた。